



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月4日

上場会社名 ユニプレス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5949 URL http://www.unipres.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉澤 正信
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)碓井 隆司 (TEL) (045) 470-8631
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月5日 配当支払開始予定日 平成26年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	143,503	11.6	6,569	△16.3	6,914	△25.8	2,352	△56.7
26年3月期第2四半期	128,534	9.6	7,845	△28.7	9,321	△9.2	5,433	△11.5

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 357百万円 (△96.9%) 26年3月期第2四半期 11,377百万円 (86.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	55.84	55.41
26年3月期第2四半期	115.00	113.99

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	216,460	110,474	47.8
26年3月期	210,955	109,081	48.5

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 103,433百万円 26年3月期 102,328百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00
27年3月期	—	12.50	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	285,000	△1.6	17,000	10.1	16,500	△5.8	8,000	△2.5	189.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 - 社(社名) - 、除外 - 社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	47,509,373株	26年3月期	47,410,073株
27年3月期2Q	5,331,961株	26年3月期	5,331,961株
27年3月期2Q	42,138,112株	26年3月期2Q	47,251,106株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」の「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高につきましては米州等の増産影響に加え、円安に起因する為替影響により1,435億円（前年同期比149億円増、11.6%増）となりました。一方、利益につきましては、当社グループをあげて取り組んでおりますUPS（ユニプレス生産システム）活動を柱とした合理化効果はあるものの、国内の減産影響等により、営業利益は65億円（同12億円減、16.3%減）となりました。経常利益は為替差益の減少により69億円（同24億円減、25.8%減）、四半期純利益は23億円（同30億円減、56.7%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

得意先の減産の影響により、売上高は486億円（前年同期比81億円減、14.4%減）となり、セグメント利益（営業利益）は22億円（同18億円減、45.1%減）となりました。

② 米州

得意先の増産影響に加え為替影響もあり、売上高は442億円（同153億円増、53.1%増）となったものの、増産対応費用等により、セグメント損失は6億円（前年同期は4億円の損失）となりました。

③ 欧州

得意先の増産影響に加え為替影響もあり、売上高は164億円（前年同期比30億円増、23.2%増）となったものの、新拠点の立ち上げ費用等により、セグメント利益は10億円（同1億円減、11.9%減）となりました。

④ アジア

タイにおける減産影響はあるものの、新拠点による売上高増に加え為替影響等により、売上高は341億円（同47億円増、16.0%増）となり、セグメント利益は37億円（同8億円増、30.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、為替影響を含め受取手形及び売掛金が44億円、販売用型設備等のたな卸資産が4億円、有形固定資産が8億円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ55億円増の2,164億円となりました。

負債につきましては、長短借入金が45億円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ41億円増の1,059億円となりました。

純資産につきましては、為替換算調整勘定が27億円減少したものの利益剰余金が35億円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ13億円増の1,104億円となりました。なお、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.7ポイントマイナスの47.8%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ10億円増加し、218億円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による収入は78億円となり、前年同期の154億円に比べて75億円減少しました。主として売上債権の増減額の影響によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による支出は87億円となり、前年同期の164億円に比べて76億円減少しました。主として有形固定資産及び関係会社株式の取得の減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による収入は29億円となり、前年同期の17億円の収入に比べて12億円増加しました。主として長短借入金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期連結業績予想につきましては、概ね予想の範囲内で推移していることから、平成26年5月13日に公表いたしました予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(注) 当第2四半期連結会計期間から、新たに設立したユニプレスアラバマを連結の範囲に含めておりますが、特定子会社には該当しません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間から適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間ごとに設定された複数の割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が333百万円増加し、退職給付に係る負債が2,300百万円減少し、利益剰余金が1,698百万円増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,756	22,485
受取手形及び売掛金	35,148	39,579
たな卸資産	21,410	21,840
その他	11,908	11,294
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	89,222	95,200
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,668	23,296
機械装置及び運搬具(純額)	48,948	48,189
土地	8,193	8,188
建設仮勘定	9,946	10,688
その他(純額)	13,393	14,587
有形固定資産合計	104,150	104,950
無形固定資産	2,724	2,644
投資その他の資産		
投資有価証券	8,017	7,387
その他	6,847	6,289
貸倒引当金	△6	△12
投資その他の資産合計	14,858	13,665
固定資産合計	121,732	121,260
資産合計	210,955	216,460
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,176	25,880
短期借入金	25,791	28,441
未払法人税等	4,738	3,311
賞与引当金	2,548	2,321
その他の引当金	108	55
その他	15,185	17,940
流動負債合計	74,548	77,950
固定負債		
長期借入金	8,705	10,625
その他の引当金	164	146
退職給付に係る負債	10,494	7,941
その他	7,960	9,323
固定負債合計	27,324	28,036
負債合計	101,873	105,986
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,767	9,834
資本剰余金	10,825	10,892
利益剰余金	89,009	92,534
自己株式	△10,238	△10,238
株主資本合計	99,363	103,023

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
その他の包括利益累計額		
其他有価証券評価差額金	590	544
為替換算調整勘定	7,220	4,461
退職給付に係る調整累計額	△4,845	△4,595
その他の包括利益累計額合計	2,965	410
新株予約権	249	197
少数株主持分	6,503	6,842
純資産合計	109,081	110,474
負債純資産合計	210,955	216,460

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	128,534	143,503
売上原価	111,953	126,651
売上総利益	16,581	16,851
販売費及び一般管理費	8,735	10,282
営業利益	7,845	6,569
営業外収益		
受取利息	53	129
受取配当金	28	46
為替差益	1,491	869
持分法による投資利益	107	—
その他	270	214
営業外収益合計	1,951	1,259
営業外費用		
支払利息	326	463
持分法による投資損失	—	315
その他	148	135
営業外費用合計	475	914
経常利益	9,321	6,914
特別利益		
固定資産売却益	15	10
投資有価証券売却益	—	328
持分変動利益	97	—
新株予約権戻入益	3	16
特別利益合計	116	355
特別損失		
固定資産処分損	146	50
特別損失合計	146	50
税金等調整前四半期純利益	9,291	7,218
法人税等	4,309	4,156
少数株主損益調整前四半期純利益	4,982	3,062
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△451	709
四半期純利益	5,433	2,352

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,982	3,062
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	556	△49
為替換算調整勘定	5,784	△2,913
在外子会社の年金債務調整額	△18	—
退職給付に係る調整額	—	250
持分法適用会社に対する持分相当額	73	6
その他の包括利益合計	6,394	△2,705
四半期包括利益	11,377	357
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,405	△202
少数株主に係る四半期包括利益	△28	559

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,291	7,218
減価償却費	7,394	8,573
賞与引当金の増減額(△は減少)	△92	△241
受取利息及び受取配当金	△81	△175
支払利息	326	463
持分法による投資損益(△は益)	△107	315
固定資産処分損益(△は益)	130	39
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△328
売上債権の増減額(△は増加)	△1,144	△5,008
たな卸資産の増減額(△は増加)	△768	△178
仕入債務の増減額(△は減少)	381	1,349
未払金の増減額(△は減少)	665	△462
その他	744	2,443
小計	16,740	14,009
利息及び配当金の受取額	122	216
利息の支払額	△326	△463
法人税等の支払額	△1,081	△5,891
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,454	7,871
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	—	△660
有形固定資産の取得による支出	△13,365	△8,428
有形固定資産の売却による収入	360	76
無形固定資産の取得による支出	△100	△195
投資有価証券の売却による収入	0	538
関係会社株式の取得による支出	△2,198	—
関係会社貸付けによる支出	△1,070	—
その他	△24	△43
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,400	△8,712
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	319	2,007
長期借入れによる収入	2,762	4,000
長期借入金の返済による支出	△940	△1,844
リース債務の返済による支出	△488	△545
株式の発行による収入	103	99
配当金の支払額	△590	△526
少数株主への配当金の支払額	△94	△220
少数株主からの払込みによる収入	653	—
その他	—	△33
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,725	2,937
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,235	△1,026
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,015	1,069
現金及び現金同等物の期首残高	8,823	20,756
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,838	21,825

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	56,827	28,877	13,367	29,461	128,534	—	128,534
セグメント間の内部売上 高又は振替高	11,503	36	—	821	12,361	△12,361	—
計	68,331	28,913	13,367	30,283	140,895	△12,361	128,534
セグメント利益又は損失 (△)	4,186	△485	1,155	2,868	7,725	120	7,845

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	48,637	44,215	16,465	34,185	143,503	—	143,503
セグメント間の内部売上 高又は振替高	7,836	5	0	547	8,389	△8,389	—
計	56,474	44,220	16,465	34,732	151,893	△8,389	143,503
セグメント利益又は損失 (△)	2,298	△621	1,018	3,739	6,434	134	6,569

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。